キャリアアップ通信

Vol.2　9月号

発行：医療局職員課

はじめに

皆さん、こんにちは！岩手県医療局職員課人事担当です。

県立病院において資格取得し活躍している職員紹介の第２号をお届けします。

今月は認定看護師、専門看護師、放射線治療専門放射線技師、認定理学療法士の皆様を紹介します。今後の参考にしていただければと思います。

専門看護師への道　（慢性疾患看護など３分野３名）

【専門看護師とは】

複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定専門看護分野の知識・技術を高めた看護師

【要件】・看護師免許を有すること

・看護系大学院修士課程修了者で看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得していること

【服務の取り扱い】

・**「修学部分休業」**修学のため２年を超えない範囲で一週間の勤務時間の一部について勤務しないことができる（休業時間分は減額）

・**「自己啓発休業」**大学進学（若しくは国際貢献活動）の期間休業し、勉学に専念できる

> 今年度の認定看護師派遣は**7名**、助産師内部養成は**5名**内定しました！！
>
> 養成校の入学試験に向けて頑張ってください！

医学物理士への道　（県立病院全体で３名）

【医学物理士とは】

放射線医学における物理的および技術的課題の解決に先導的役割を担う者で、次の分野に関する業務を行う

①放射線治療物理学分野
②放射線診断物理学分野
③核医学物理学分野
④放射線防護・安全管理学分野

【要件】

１、医学物理士認定機構が認定する医学物理教育コースを修了する
２、理工学系の修士もしくは博士の学位を取得する
３、放射線技術系の修士もしくは博士の学位を取得する
４、１以外の医学物理教育コースで修士もしくは博士の学位を取得する

→さらに、定められた臨床研究、業績点が必要となります

【服務の取り扱い】

各種研修、学会等の旅費等を支給

→詳細はこの後の横澤さんの記事をご覧ください！



認定理学療法士（循環）　（循環など３分野９名）

【認定理学療法士とは】

自らの専門性を高める活動において、高い専門的臨床技能の維持、社会・職能面における理学療法の専門性（技術・スキル）を有する理学療法士

【要件】

１、新人教育プログラムを修了し、専門分野登録後２年経過していること。
２、協会指定研修を受講済であること。
３、認定必須研修会を受講済であること。
４、各領域の履修要件に即したポイント 100 ポイントを取得していること。
５、症例報告 10 症例が提出できること。

【服務の取り扱い】

各種研修、学会等の旅費等を支給

【取得までの流れ】

専門分野の登録
協会の指定する研修等の参加
履修要件 100 ポイントの取得
症例報告 10 症例の作成
認定試験受験

→詳細はこの後の小坂さんの記事をご覧ください！

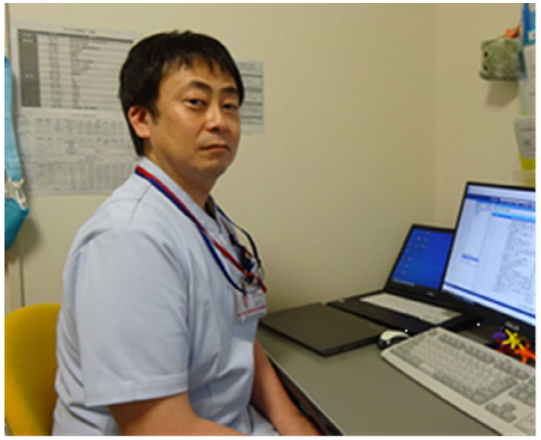
【問合せ：医療局職員課人事担当 ☎019-629-6861　研修担当☎019-629-6321】

認定看護師

感染管理認定看護師

磐井病院　感染管理室　　主任看護師

松澤　亮　さん



Q　**資格取得のきっかけを教えてください。**

私が、感染管理に興味を持ったのは、部署でリンクナースになったことがきっかけです。部署の感染対策を行っていく上で、もう少し感染管理について勉強したいと思っていたところ、先輩の感染管理認定看護師に勧められ目指そうと思いました。

Q　**取得までの流れはどうでしたか。**

資格取得を決めてからは、自部署で UTI サーベイランスを行ったり、学会や研修会への参加等をして準備を行いました。医療局の認定看護師教育課程派遣募集に応募し内定をいただき、研修学校を受験しました。約半年間の研修後、自施設で勤務をしながら勉強し、資格取得試験に臨みました。

Q　**研修中の様子を教えてください。**

北は岩手から南は鹿児島まで、20 代から 50 代後半の同じ目標をもった仲間と一緒に学ぶ経験はあまりなかったので、感染管理以外のこともたくさん仲間から学ぶことが出来とても新鮮な毎日でした。研修地が神奈川県でしたので満員電車での通学がつらかったです。

Q　**資格取得後の院内での活動を教えてください。**

取得後は、専任として週に 1 回の活動日をいただき、主に手術室・中材の感染管理について活動を行ってきました。現在は、感染管理室専従の役割を頂いておりますので、院内全体の感染対策について、最近では COVID-19 対応を含めた感染対策を感染管理室の医師・薬剤師・臨床検査技師と協働して実践しています。

Q　**一日のスケジュールを教えてください。**

1 日の始めにまず、細菌検査室に行きます。検査室は院内検出菌情報を一番分っている部門ですので情報共有はとても大事です。その他は、院内ラウンドやサーベイランス、保健所や地域の医療機関等とのやりとりなどを行っています。また、感染予防対策が全職種で実践できるようなシステム作りを行っています。

Q　**これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします。**

私が感染管理認定看護師になったきっかけはリンクナースになったことですから、『一期一会』そのときの出会いを大事にし、興味があるなら是非様々なことにチャレンジしてみて欲しいと思います。

Q　**最後に一言お願いします。**

COVID-19 のように未知の感染症や薬剤耐性菌対策など感染管理は、ますます医療現場で重要な役割を果たしていくことになると思います。直接患者さんに関わることの少ない職種ですが、病院の全ての人を感染から守る役割ですのでやりがいはあります。興味のある方は、是非目指してほしいと思います。

慢性疾患看護専門看護師

軽米病院　2病棟　　主任看護師
千葉　美香　さん



Q　資格取得のきっかけについて、認定看護師ではなく専門看護師を目指した理由を含め教えてください。

一生懸命救命した患者さんのその後の長い経過に何度も関わる中で、病いや障がいを持ちながら生きる方々やそのご家族を長期的に支える看護の重要性を実感しました。医師の治療だけではなく、看護師の立場で支えるにはどうしたらよいのか、幅広い観点から看護の力・専門性を探求したいと考えたので、認定看護師課程ではなく大学院修学を選択しました。

Q　取得までの流れはどうでしたか。

救急分野の勉強を経て、上記をきっかけに人間理解を深めたいと思い、働きながら大学に進学しました。大学では人間科学を修めつつ看護学も学び直しました。大学を卒業後、出産を経て、大学院の博士前期課程に進学、慢性疾患看護専門看護師課程で学び、修了後に専門看護師認定審査を受け、合格、資格取得となりました。

Q　働きながらの大学院生活はとても大変だったと思いますが、医療局の休業制度は活用したのでしょうか。また、大学院生活はどうでしたか。

実習期間を中心に修学部分休業の制度を利用しました。足りないところや通学には、非番・年次・夏季休暇・夜勤前後の時間をフル活用ました。専門看護師課程は他の院生よりも授業科目が多く実習もありますので、3 交替勤務をしながら学びを進めるのは想像以上に大変でした。それでも病院の皆さんや家族の支援で学ぶことができました。大学院生活は大変でも楽しく、先生方や共に学ぶ仲間との出会い、成長した自分との出会いは大きな喜びであり誇りでもあります。大学院での学びをすぐに臨床で実践できるのも、働きながら学ぶ大きなメリットだったと思います。

Q　資格取得後の院内での活動について教えてください。

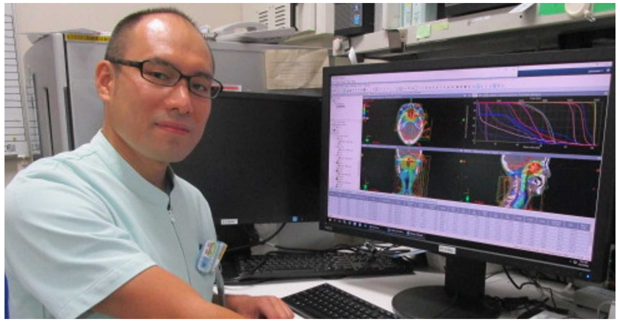
専門看護師取得以前から実施していた、糖尿病患者さんへの療養指導や、地域の生活習慣病予防啓発活動等を継続しながら、糖尿病に限らず慢性疾患や障がいを持つ方やそのご家族の方への療養支援として看護療養相談を始めたり、院内の研修プログラムの企画・展開、講師などを行っています。

Q　一日のスケジュールを教えてください。

病棟勤務日と専門活動日でかなり違いますが、専門活動日は、午前中は、看護療養相談に対応したり、介入が必要な外来患者さんのピックアップ、午後は、多職種合同ミーティングや会議への参加、糖尿病外来や病棟での療養指導やフットケア、研修会や講演会の資料作りなどを行っています。連携調整のため他部署に伺いショートカンファレンスを行うこともあります。

Q　最後に一言お願いします。

慢性疾患看護専門看護師は、様々な領域を横断的に活動し、多くの方々の療養を支援する役割からニーズは高いと考えています。働きながらの大学院修学は楽ではありませんが、県立病院には慢性疾患看護専門看護師は１人しかいませんので、たくさんの方にチャレンジしていただきたいです。



医学物理士・放射線治療専門放射線技師・放射線治療品質管理士

中央病院　放射線技術科　主任放射線技師
横澤　淳司　さん

Q　資格取得のきっかけを教えてください。

学生の頃から、目に見えない放射線を測ることに興味があり、勉強を進めていくうちに、放射線を正確に患部に当てて患者さんを治療していく「放射線治療」分野にとても興味を持ちました。放射線技師として、放射線治療を実際に行うようになりましたが、患者さんにより良い治療をするために、放射線治療や治療に関わる様々なことをもっと学ぶ必要があると感じるなど自分の知識不足を痛感したことをきっかけに、これらについて、理解を深めたり、知識を整理したりする過程で、医学物理士、放射線治療専門放射線技師などの資格取得がありました。

Q　取得までの流れはどうでしたか。

最初に放射線診断・治療分野を幅広く勉強するため、医学物理士を目指しました。医学物理士を取得後は、放射線治療分野について理解を深めたいと思いました。放射線治療業務に従事するようになり、放射線治療装置（リニアック装置）の精度管理や周辺機器の管理について経験を積み、放射線治療品質管理士を取得しました。

ここからさらに放射線技師として臨床経験を積んで、放射線治療専門放射線技師を取得しました。これらの資格は、認定学会が異なりますが、どの資格も関連学会および研修会への参加、発表などで単位を取る必要がありました。

Q　研修中の様子を教えてください。

臨床経験と試験合格で資格が与えられるので、研修などはありませんでしたが、学会主催のサマーセミナーや試験対策講習会などに参加し、同じ目的をもった同年代の人たちと話をすることなどで、モチベーションが維持できました。特にサマーセミナーでは、都市部から離れた場所にこもっての集中講義など、今までにはない体験ができました。

Q　資格取得後の院内での活動を教えてください。

専従の放射線技師として放射線治療業務を行っています。具体的には、強度変調放射線治療の治療計画立案や患者さんに安全に治療できるように治療体位、照射方法などを放射線治療医と検討することなども行っています。また、放射線治療関連装置の品質管理、放射線治療装置を臨床導入するための、放射線ビームなどの物理的データ測定や治療計画装置の検証作業も行います。



Q　一日のタイムスケジュールを教えてください。

1日の大半は、患者さんへの照射業務、治療計画用のCT撮影などを主な業務としています。この他に、強度変調放射線治療の治療計画立案、治療計画が実際に治療装置で再現できているかをみる検証作業、放射線治療装置や関連装置の性能維持を確認するための品質管理などを行っています。

Q　これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします。

医療の専門化が進んでおり、放射線技師、医学物理士には、臨床において科学的な助言と問題解決力の提供が求められています。それを実践するための基礎的な力を資格取得の過程で身につけて、放射線のスペシャリストとして問題解決へ取り組んでいけば良いと思います。

Q　最後に一言お願いします。

新しい診断・治療方法が次々と開発されて、最新の医療機器が臨床現場へ取り入れられています。これらの機器をどう使いこなすかは、私たち放射線技師、医学物理士にかかっています。患者さんへより良い医療を提供するためにも、日々努力を続けていくことが重要です。

認定理学療法士

認定理学療法士(循環)・心臓リハビリテーション指導士

胆沢病院　リハビリテーション技術科　理学療法士

小坂　直樹　さん



Q　資格取得のきっかけを教えてください。

私の初任地は中央病院であり、在職中に新人教育の一環として心臓・呼吸チーム、がんチーム、整形チーム、脳血管チームとリハビリを経験しました。その中で、「おもしろい」「もっと勉強したい」と思ったのが心臓リハビリでした。そのため、専門的な知識・技術および臨床思考の習得、自己研鑽を目標にこの2つの資格を取得しようと思いました。

Q　取得までの流れはどうでしたか。

認定理学療法士試験は、日本理学療法士協会新人教育プログラム過程を終了し専門分野登録を行い 2 年以上の経過、協会指定研修会ならびに必須研修の受講、生涯学習ポイント 100 ポイント、症例報告書 10 症例を含めた必要書類を提出し、申請を行います。1 領域受験の場合は、マークシート形式の五者択一で問題数 24 問(共通 9 問＋認定領域 15 問)、試験時間 50 分です。合格すると認定理学療法士の認定証が交付されます。

心臓リハビリテーション指導士試験は、心臓リハビリテーション学会の 2 年以上継続した会員ならびに当該年度の講習会受講、医師・看護師・理学療法士などの資格を有する、実地経験 1 年以上または心臓リハビリ研修制度により受験資格認定証の交付を受ける、10 例の症例報告を含む必要書類の提出にて受験申請となります。試験は、マルチプルチョイス、マーク方式の全 50 問 60 分です。合格すると心臓リハビリテーション指導士の認定証が交付されます。

Q　研修中の様子を教えてください。

研修制度の利用をしませんでしたが、受験を考えていた年に転勤となり、限られた時間の中で症例報告書(自験例報告書)を作成することが一番大変でした。また 2 つの資格試験に際し、書類準備や勉強も含め 1 年を費やすつらい日々でしたが、リハビリスタッフの方々に支えられ、医師にアドバイスをいただき乗り切ることができました。

Q　資格取得後の院内での活動を教えてください。

今年度 4 月より胆沢病院勤務となり、心大血管疾患リハビリテーションの開設や 7 月より外来心臓リハビリテーションの開設に携わり、現在に至っています。入院中のリハビリは循環動態などリスクの層別化を行いながら早期離床を図り、外来のリハビリは再入院・再発予防、自己管理能力向上に向けた多職種連携の包括的心臓リハビリテーションを提供しています。

Q　一日のタイムスケジュールを教えてください。

今年度 7 月より外来心臓リハビリテーションの開設に伴い、火曜日・木曜日の午前中は外来でのリハビリの提供を行っています。

Q　これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします。

認定理学療法士については、今後制度改定となる可能性が高いため常に最新の情報を収集しておいた方がいいかと思います。また、心臓リハビリテーション指導士は、心臓リハビリテーション必携(心臓リハビリテーション指導士養成テキスト)の早めの購入をお薦めします。

どちらの資格試験にも共通することは、自験例報告書(症例報告書)は、様々な心疾患に対して標準的な心臓リハビリテーションを実施してきた事を証明する書類であり、急性期だけでなく、亜急性期や維持期の症例も必要です。普段より意識してリハビリテーションを行うことで、報告書の作成が行いやすくなると思います。

心臓リハビリは、リスクの層別化を行いながら進めることで安全に実施することができます。そのためにも、しっかりとした知識・技術を身につけることで患者様の ADL や QOL 向上につながると思います。一緒に岩手の心臓リハビリテーションを充実させていきましょう。

今後も様々な職種でスキルアップしている職員を紹介していきますのでお楽しみに☆☆